

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮 崇
事業所名	小規模多機能型居宅介護千手	管理者	廣川 文人

法人・事業所 の特徴	地域との繋がりを大切に、概ね3km以内の方より利用して頂いております。 その方の生活パターンや習慣・家族状況に応じ柔軟なサービス提供を行う事で、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らしていける事をお手伝いしています。
---------------	--

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	2人	1人	1人	0人	3人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>定期的に事業所自己評価の進捗状況を確認する機会を持つ。</p> <p>各項目に対し担当者を設置し、目標達成に向けて意識的な取り組みを実施する。</p>	<p>外部評価の項目を担当制にし、目標達成への意識を持てるようにした。</p> <p>外部評価全体をまとめる職員の動きもあり、年間を通して「事業所のあり方」についての意識を持つことが出来た。具体的な数値設定が出来なかった部分が多かったので、準備期間をしっかり持ち、事業所の水準をあげられるように努めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が目的意識をもって評価に取り組まれている姿、日々の支援への努力する姿が見えます。</li> <li>・ひやりはっとの記録について目標値を立てることは良いので、実行して欲しい。</li> <li>・会議内でヒヤリハットの報告だけではなく、にやりはっとの報告もあると日々の関わりが見えてくるかと感じた。楽しみにしている。</li> </ul>	<p>事業所自己評価の各項目を担当制にし、定期的に評価を行い、具体的な取り組みや方向性を決めていく。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>季節感のあるフロアの設えを作る。</p> <p>センターへ来られる方へ季節感、清潔感、日常の様子が分かるような設えになるように見直しを行う。</p>	<p>センター内外の環境美化への意識に気を付けてきた。</p> <p>今年度は季節に関する装飾を手作りで配置するような機会を設けてきた。また、季節感を感じれる行事にも取り組むことが出来た。</p> <p>新たにセンター内の既存の物を使用しながら季節感のある設えを検討していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臭気も無く、清潔感のある環境だと思います。</li> <li>・季節に合わせた装飾や、施設特有のにおいもなく、清潔感があると思います。</li> <li>・正面玄関に入っすぐ左の部屋に誰もいないので中に入っても良いのか迷う事がある。玄関に入った時に中でチャイムが鳴るようなものがあるか。</li> </ul>	<p>フロアの壁を使用して季節に応じた設えを行う。</p> <p>センターへ入りやすい環境、声を掛けやすい環境を見直し、整備する。</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<p>立て看板の設置、広報誌の配布、清掃活動の継続を行う。</p> <p>サポートセンター立て看板の設置について目に留まる工夫の検討、広報誌の新たな配布箇所の検討を行う。</p>	<p>センターの役割を伝えられるように立て看板を設置し情報発信を行ってきた。またセンター全体で地域のニーズを調査し、福祉拠点として活用して頂けるように働きかけを行ってきた。</p> <p>地域の求めているものが少しずつ見えてきているので、今後はアンケートで見えてきたものを形として実現できる方法を、地域の皆さんと一緒に作っていけるよう働きかけを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努力されている様子が伝わってきます。</li> <li>・広く地域の方にPRする活動として「コミセン祭り」にブースを設けるなどはどうか。</li> </ul>	<p>センター全体として立て看板、広報誌の作成・配布の継続を行う。</p> <p>民生委員、コミュニティセンターとの連携を図り、地域との関わりを持つ機会を年10回実施する。</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<p>地域包括支援センター、民生委員の方と連絡を行い、各地域の情報共有を行う。</p> <p>シルバー支え隊に登録されている店舗等を把握し、必要な情報共有を図る。</p>	<p>今年度は地域包括支援センター地区担当者様と情報交換を行う機会が多く、サービスに繋ぐことが出来た。またシルバー支え隊についての活用方法も助言頂くことが出来た。今後は積極的な繋がりを作れるように努めたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバーささえ隊の店舗にサポートセンターの紹介をすることも良いかと思えます。</li> <li>・まだまだ感染症対策の課題はあるが、カフェテラス、キッズルームの気軽に訪問できるよう再開が待たれます。町内やコミセンでのイベントなど地域の方々と楽しめる場になると期待している。</li> </ul>	<p>感染状況も考慮し、季節を感じれるよう近隣の外出や送迎時のコースを調整していく。</p> <p>地域の行事にも参加し、ご利用者と地域の繋がりを図る。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<p>介護職員の運営推進会議への参加を調整し、地域の方々と顔を合わせ声を聞く機会を持つ。</p>	<p>運営推進会議を対面での会議を開催することができ、様々なご意見を頂くことができた。しっかりと取り組みを伝えきれていない部分もあったので、普段からの意見交換ができるような取り組みを行えるようにしたい。</p> <p>時間の配分で説明が足りない部分もあったので、伝え方についての工夫も検討が必要と学べた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の介護職員さんが交代で参加出来れば、様々な立場からの声が聞けて良いと思う。民生委員の顔も知ってもらえる機会にもなる。</li> <li>・今年度から委員としての参加し、実際に施設に入ってご利用者の皆さんの様子を見る事が出来て良かった。</li> <li>・会話のキャッチボールができ、書面での一方通行ではなく理解が深まった。</li> </ul>	<p>より分かりやすく説明し意見を聴取しやすいように会議内で使用する資料を写真などを交え作成を工夫する。</p> <p>介護職員の参加も調整し、小規模と地域の関わりに繋げる。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<p>災害時に動けるようにセンターの避難訓練に合わせ、センターを避難所としてどう使用できるかを職員で確認を行う。</p> <p>サポートセンターの災害時の活用方法を周知できるように立て看板、広報誌、ポスターの作成を行い配布する。</p>	<p>今年度は避難訓練に地域の方より参加して頂く機会が作れた。実際の避難誘導時の注意点なども検討できる機会となった。段階を踏んで様々な方に災害時の動きを知って頂ける取り組みを行いたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートセンターの近所に住んでいる方は、災害時に千手小学校まで行けないから、サポートセンターに避難すると話されている方もいます。遠くまで避難できない方の受け皿としての避難所になると、地域の方は安心されると思います。</li> <li>・町内防災担当役員などが避難訓練などに参加し、交流するのも良いのではないかと。</li> <li>・町内回覧の配布は任せてください。</li> </ul>	<p>地域の方の避難訓練への参加を調整し、実際の避難時を想定した動きを実施する。</p> <p>地域の方の意見を確認し、避難方法の見直しに繋げる。</p>